

# あの・なはん

No.76

あの・なはん 盛岡弁で「あのねえ」と呼び掛けることば

「あの・なはん」はボランティアの「あの・なはん編集委員会」が編集しています。担当：男女参画国際課 ☎626-7525

## 愛って支配？ ～それは、デートDV!!～

男女交際は人生や人間関係を豊かにし、成長する過程で大事な経験です。若い世代を対象にした男女交際の調査結果によると、県内の中学2年生の37.6%\*1、高校生の61.6%\*2が、男女交際の経験がありました。そのうち高校生では、女性の26.9%、男性の12.6%が、交際相手が怖くて自分の行動を制限したと答えています。今回は、男女交際で起きる「デートDV」について考えてみました。

\*1 いわて人権教育意識啓発プログラム指導者用手引書（平成21年）

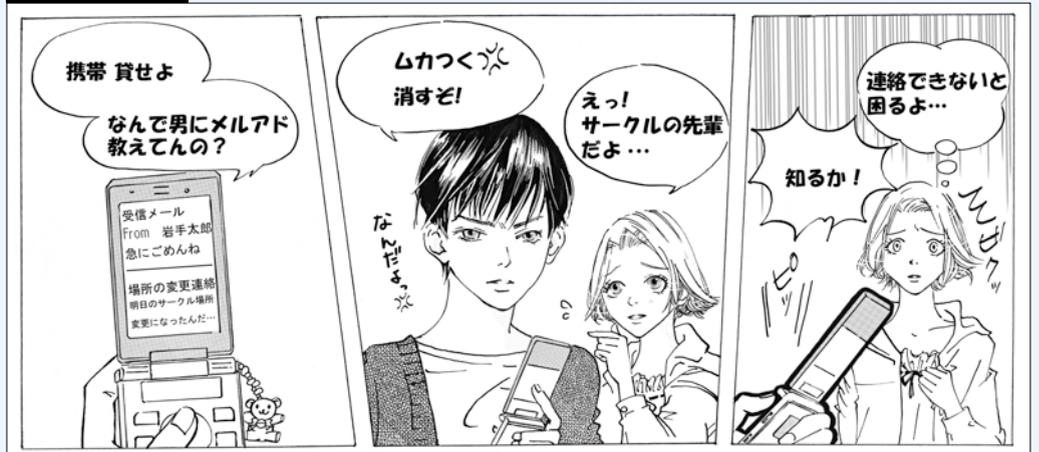
\*2 岩手県「若年層におけるデートDVに関する意識と実態調査」（平成19年）

### ■こんなことあるよね！

「デートDV」とは、交際中の男女の間で起こる暴力をいいます。ほとんどが思春期や青年期に集中しています。体への暴力だけではなく、言葉や態度で精神的に追いつめ、恐怖心を与えることも暴力に当たります。それは、相手を操り、支配しようとするための手段で、殺人事件や傷害事件などにエスカレートすることもあります。

では、デートDVにはどのような態度や行動があるのでしょうか。漫画とチェックリストで例を挙げてみました。心当たりがあったら、それはデートDVの可能性がります。

#### 携帯チェック



#### オレ、一番



#### チェック!!!

あなたはされていませんか…

- 「ばか」とか「おまえになんかできるもんか」などと言われていませんか
- 1日に何度も携帯電話に電話やメール送信され、すぐに返事をしないと相手が不機嫌になりませんか
- けんかをしたとき、「怒らせたのはお前のせいだ」と言われませんか
- お金を立て替えたのに、相手が返してくれないことはありませんか

#### 彼氏なら



#### チェック!!!

あなたはしていませんか…

- 相手がほかの人と仲良くしていると、嫉妬して責めたりしていませんか
- 相手の服装や行動をいちいち指示することが、相手のためだと思っていませんか
- 腹が立つと、目の前で物をたたいたり、大きな声を出したりしていませんか
- 二人のことで、相手の考えや希望を尊重しないで、自分一人で決めることはありませんか



県立大社会福祉学部1年

**早川 陽 さん**  
はやかわ・あきら

高校までサッカーに打ち込んだスポーツマン。大学では児童福祉などを勉強中。学生ボランティアセンターのスタッフとして活動しています

### DVは知っているけれど、デートDVって？

DVという言葉は知っていましたが、身近に感じたことはありませんでした。中学生対象のデートDVのワークショップにボランティアで参加して、初めて「デートDV」という言葉を知りました。以前、友達が彼女をいじめているらしいとのうわさを聞いたとき、仲のいい友達だったので「まさかあいつが…」と思って、信じられませんでした。今思えば、デートDVだったのかもしれない。

### 女性にこそ知ってほしい

一般的に、男性は彼女をリードしたいという気持ちがあります。でも、彼女を取られたくないとか、自分に自信がないという不安が、支配的な言葉や行動になると思います。彼女も嫌われたくないので我慢してしまいます。被害者は女性が多いので、女性こそデートDVを知ってほしいと思います。今自分がされていることが普通ではないと気付くことで、悲しい思いをしないのではないのでしょうか。

## ■好きなのになぜ？

好きになった人なのに、どうして暴力を振るってしまうのでしょうか。「デートDV」は、セックスがきっかけで始まることが多いといわれます。相手が自分のものになったと思込み、自分の欲求を満たそうと力を使って、体や心までもコントロールしようとしませす。一方、「恋人同士なら、嫌なことでも我慢するのは当たり前」と、愛と支配の勘違いから別れられない深刻な状況に陥ります。

自分も、好きになった相手も、自分で考え判断し行動する対等な存在であることを認め合う気持ちを、忘れないことが大切です。

楽しいはずの男女交際にひそむデートDVの怖さを、どれだけの若者が知っているでしょうか。いわて人権教育意識啓発事業推進委員会主催の「デートDVユースリーダー養成研修会※」に参加した県立大の学生二人に、参加しての感想や今後の活動について聞いてみました。

※大学生が「デートDV予防教育啓発活動」をするための知識や手法を学びます

## ■知ってほしい「デートDV」

県立大看護学部3年

**高安 愛美 さん**  
たかやす・まなみ

県立宮古高等看護学院で、若者に命の大切さや性に対する情報を伝える活動をしていました。現在、大学で保健師の資格取得に向けて勉強中です



### 注意ではなく、具体的な情報で

ほとんどの若者は、メール交換やネットから始まる交際の危険性は知っていても、まさか自分が危ない目に遭うとは思ってはいません。あふれる情報の中から正しい情報を見極めることが大切です。デートDV予防啓発活動の中で、わたしは高校生や大学生には注意という形ではなく、具体的な情報を提供します。また中学生には、まず自分や相手を大切にすることを指導します。

### 中高生と大人をつなぐ架け橋に

大人にデートDVを知ってほしいと思います。わたしたちユースリーダーは、学校の許可が出て初めて学生に話すことができます。だから、特に学校の先生には、活動内容を理解し、協力してもらいたいと思います。年代の近いわたしたちが伝える方が、共感してもらい心に残ることがあると思います。専門家と協力し、大人と中学生・高校生の架け橋になる活動をして、後輩にも引き継ぎたいと思います。



### わたしたちにできること

#### 友達がデートDVをされていたら…

- ▶じっくりと話を聞きましょう
- ▶聞いた話は、他人に話さないようにしましょう。うわさが広がって友達が危険な目に遭うこともあります
- ▶家族や先生など信頼できる大人に話せるよう支えてあげましょう
- ▶こんなことは決して言わないで
  - \*「愛されているのね」
  - \*「あなたが我慢すれば良いのよ」
  - \*「よくあることだよ」

#### 家族がデートDVをされていたら…

- ▶子どもは「親」に相談しにくいものです。子どもの異変に気づき、守ることができるのは親だけです。責めたり、批判したりしないで「あなたは悪くない」と声を掛けてあげましょう
- ▶家族が解決してあげようと思わないで、本人が決められるように支えましょう
- ▶デートDVに気付いたら、家族が、専門の相談機関に相談することも早期解決の一步となります

相談窓口

もりおか女性センター ☎604-3304  
県男女共同参画センター ☎606-1762

青少年なんでも相談室 ☎606-1722  
県福祉総合相談センター ☎629-9610

※いずれも相談は無料です  
秘密は固く守られます

### ～こちら編集室～

デートDVの背景には、男性は女性を支配したいとか、女性は男性の言うことに従うべきだという固定的なものの見方や考え方があることも一因になっています。今回の編集を通し、大人が何げなく子どもを「男らしく」「女らしく」と育ててきたひずみを、デートDVに感じました。

自分の子どもが生まれたとき、何よりもまず「健康で幸せに」と願い、子どもの成長とともに、「自分らしく生きてほしい」と願いました。小さいころから「自分を大

切にすること」を教えることは「相手を大切にすること」にもつながり、人間関係を豊かにします。互いを尊重し合う力を身につけることで、男女の良い交際ができるのではないのでしょうか。

デートDVを「そのくらい。そんなこと」と言わずに、みんながデートDVを知り、忠告や助言ができるようになりたいものです。ぜひ、今号を親子で一緒に読んで、デートDVについて話し合うきっかけにしたいです。

「あの・なはん」編集員募集  
【任期】4月から1年間【対象】毎週水曜の日にボランティアで活動できる人  
【定員】数人【活動場所】プラザおでっ5階、もりおか女性センター（中ノ橋通一）【申し込み】もりおか女性センター本館・別館などに備え付けの用紙に必要事項を記入し、3月26日（金）、17時までに市役所若園町分庁舎2階の男女参画国際課へ持参ください。応募多数の場合は選考します【問い合わせ】男女参画国際課 ☎626-7525